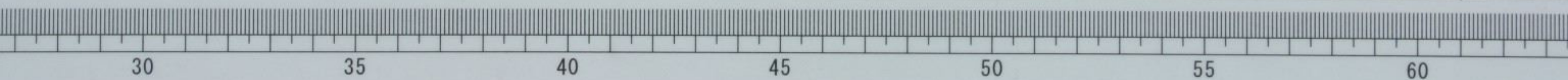




特別
子12
3643
51



難
謠
文
集

梅若樹
昭和四年五月
梅若重氏



難誼文集



梅若藏木郎氏
昭和四年五月廿五日
梅若重貞氏
寄贈
海老原考

一 下せりいかにほかごとをなま

此句此 此かごとをなまの事いかにととまに根なき
難物也 作まは片男浪の意也 元来片男浪
といふ事なり 此歌い

和歌乃浦ふ志かこられいかにとをなま
ほへをさうそしたづかるといふ

かごとをなまの事いかにととまに根なき
然はと片男浪の意也 作まは片男浪の意也 元来片男浪
穿鑿の誤と成り 片男浪とおもへるは世に
誤也

一 くとねやうちうやふは乃ひま

是も世間おとより誤きとれり をなま也
小笠原

一 晨鐘父枕乃響音なふはりちま

一 業くさかみ津の玉乃

一 親子兄弟とさかみ津の玉乃

一 ち依いばみ文者あり

右何まといの假字あり有べき也 かの假字
あてい違へるとおもふ

一 智恵の矢をてめ

てめると云はい何とやんいかま字ゆ
矢をてけてれ又ハ矢ははがひを
初 五

一 初め日ハハ換ちふ聴劇乃小望ひそ

ハハ換ちふ 説法の内望ひそといふは道理ナ
叶ふはシテの方も説法といつハと云さる
勿論也

一 一心敬禮 モウライ

一 空よハ日月燈明佛 ニチグツ

右二箇不とと佛語ちれハ異音に唱ふ
べき也

一 美ちのくふ乃守り

陸奥といこちのおく伐約てみちのくと之は也
も一然くういみちのくふ乃守りといふは
叶せんをみちのくふとい古く世と子習く味
ぢしおとと又みちのくふと云てい解り約色
と係し一平居宣長も既子既一をまより

一 帝をのめおほし

左のめとい斜の字ありてよと一ゆといふ
も一物とい帝よりゆまよあかした思ふと
いふはゆまよりナはい左のめとあはほ
いさるはいさ理すけん

一 隔なくあをたし

ナく此一隔の文句のまは時宗うおもく改
述いさゆまといたしとといふは
けしはゆまをたして一たといふ付は母が
いふ詞と成也 自他のお違也

一 きし方の小願ふれも

是ハナリ一方を有へし原本にハ之で
来一方と有り成筆者のさかいらあ
来の字をきと讀く出し誤り
結句の文句おとナリ一方行来をどり
去る合をへし

一 我親お孝ほちふより

實の忠信孝子が我ま君子忠信有り親ふ
孝行なりなぐ自力の口より吐出れとの子
ゆは慢心ゆはの限也
明和改正の文句子習へき也

一 加柳の者ハ西塔の傍子住居する武藏坊
辨慶をい文句

是ハハ弁慶つとと西塔子住居してあは
まばゆ牛とと之後は成ての後、叡山ハ住
かしたととナハ判官殿の内子武藏
坊弁慶していと名を承てよりかきき
同改正の文句子習へき也

一 兼平のキ名をい文句

坊舎慶しそいと名をよきよりかきききき
同改正の文句も替へき也

一 兼平のキ名をふの文句

未の文句とくひ違ひ阿字

同改正の文句も替へき也

一 富士太鼓のキ名をふの文句

一 圓子解難し

同改正の文句も替へき也

一 庭の言居といふれい言行届る

北野の言居といふれい言行届る

一 印波指なが

楯を流しといふれい行届る

一 又ハ國土を垂迹の方便

國土を垂迹といふれい言行届る

一 思ひよる也松虫の

松の咲け松虫の啼とあり阿字されい
明和改正の文句はやく鶴小替へき也

一 急き凶徒子うつ立

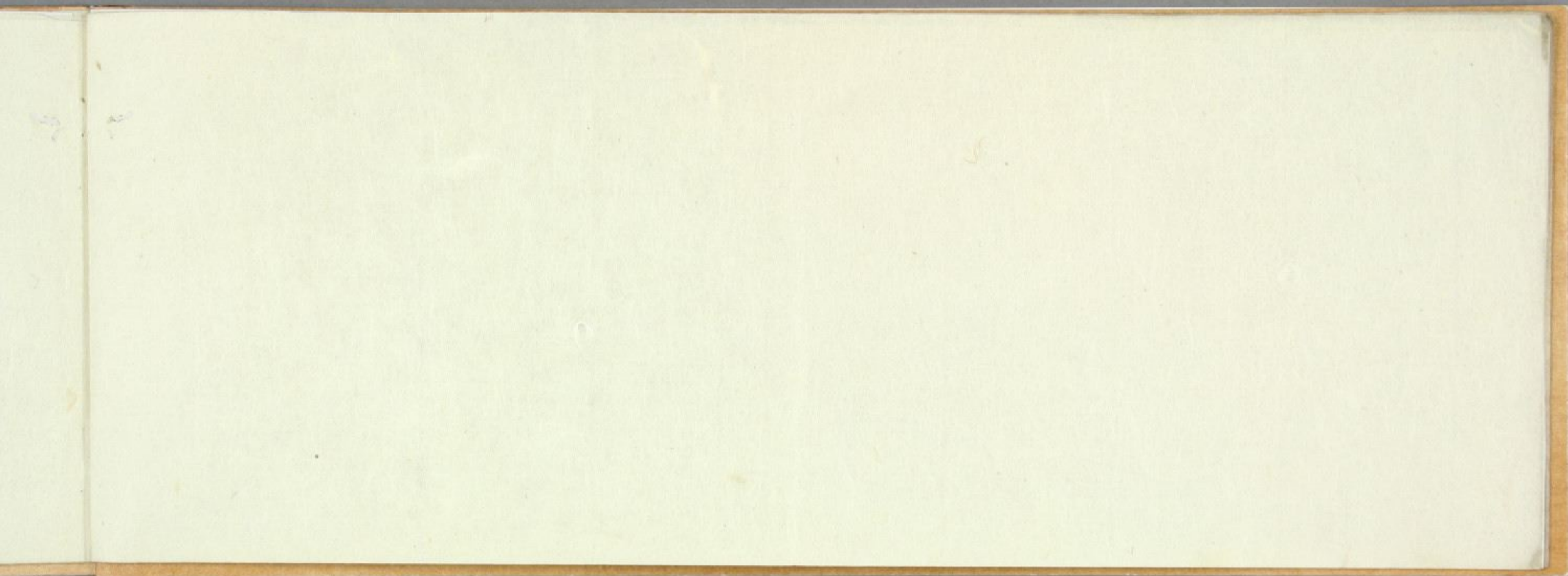
是と改正の文句はやく凶徒退治子うつ立
と替へき也

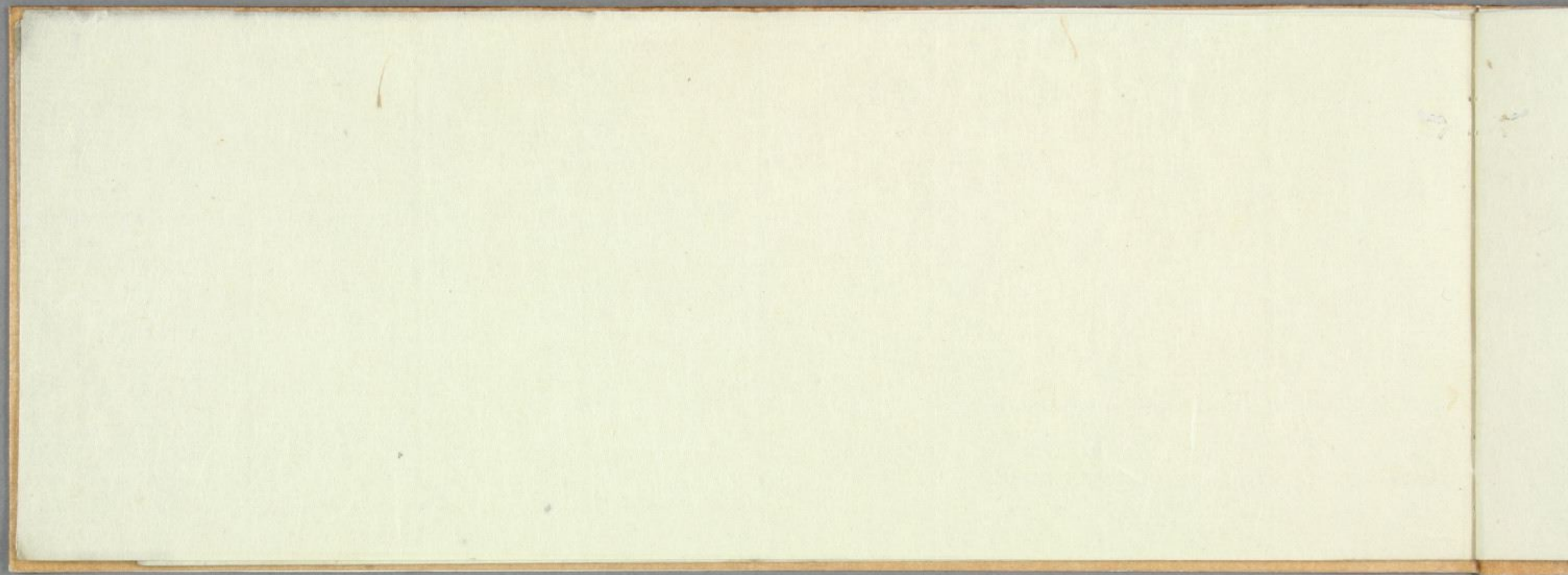
一 陶朱切をなほとか也

何とやんゆきはまりと文句也
是と改正の文句はやく陶朱云か切とか也と替
へき也

一 いとせ日本は賊船とく

箱崎敵ハ盜賊の頭をもとあるかの船子す
ていが也さねく日本のは賊船といひてい
何とやんはやく面白かり文句を替へ
て





今姑隠本に文字の書違ひあり

今うた詠本に文字の書違ひあり
是ハ筆者さかからぬ也

満ま考

一 嬉しむ向ひの舟

遊乃舟かを有へ
小督ニ遊の舟車とあり

是を比較して改むべき也

一 阿ぶど言ふる

とこのあらまをみん
調

万葉ニ
大宮のうちまをきこゆ阿ひきよと
あこしとくわゆる阿万のよむいり也

一 親のかげこけまゆよこの

かふこもをみん
飼蚕かひのすし

一 壁土の照とくもあり

碧天を照とくもみん

一 眞採いみちて例うちせ

ほうち也うも有へ
肪 脹
東坡之九相詩ニあり

一 君賢人を存し給ふ

賢仁ニ治有へま

明和改心ハ君とく我をむへ給ハトアリ

一水やそらく

是ハ出様よりうらに
水やそら空ゆく
如斯出替てより

一紫の香^〇志め乃ゆき

香をいぢり行也

^{万葉}
阿蘇の紫の香^〇志め乃ゆき
舟もいみもや君の神もい

一まろ山^〇長閑陰ハ

長閑法と云ふ出がはすめ
かぬるこ
長閑き法と云ふはまろてのまろに
かやうかふハのとけき乳と云ふ假字子
去ぞよに

一武將達^〇ほまれを

是ハ武將たりし武ツテたりと
云ふちるへー但武將子達したち
と云ふと云ふ作まら文也と云ふ
いふまことせよか松の文句ハも假字
あてたりと云ふよき

一北辰の興^〇と云ふ

是ハ北辰を拱^{キョウ}と云ふ者なり
ミダシ

一舟橋^〇奈落ちくちる

是ハ真字と假字との出がは遠はり
いふちるく奈落のと云ふよき也

歌

いふちるく奈落の底入ぬまに
小川も首尾

是ハ眞字と假字とのまがはぬまじり
いふちりく奈落のとまへまじ

歌
いふちりく奈落の底小入ぬまじ
利利も首陀もかりりりりり

住吉詣
一きり一方の由願小

是ハハハ一方を有へて本来一方
とありり成筆者のさからこそ未字
きと心得り去し誤ちるへ
外の文句よとあり一方行末もいふ
考へ合はるへ
文句
あきさ
りり

一祢だらをたんまあつる乃

是ハ原本子なむとむと成例の筆
がさからりてむの假字をらむなむ
ちどるへ字子よむものなれりりり
と字のむまへと卒忽子去り
ちるへ

一牛羊征衛子かたり

街よそちるへ

一いさまの瑞現

験よこむへ

一黄帝の上覧子をまへ

皇よそちるへ

一ハ多ゆ子たては

是ハ阿まのさる屋とかけし文句
なれり假字よそやへゆと去へまじ也

一名と忠度のあまきりて

是ハ唯法の言とふいひかけなれり
假字よそしたの字乃と去へまじ也

一 作 ま と お 一

是ハおせと假字に去て作と^イなり也
作を約ておせと云也 假字^イを
去へ一

因て云
ナハ^イそと云も是ハ^イそもの約^イな
ルハ假字^イを去へき也 是ハ^イそと
去ッハ去法^イなり

一 花 火 焰 の 輪 塔 何 ぞ 一

是ハ明和改正の如ク花園の輪塘と
書替へき也 メジレルツミ



一 作

是ハおせと假字に出テ作トイフ也
作と紛ておせと云也 假字トイフ
因テ云
大ハおせと云も是ハそのもの紛
ハハ假字トイフ也 是ハおせと云
出ハおせと云也

一 丸

是ハ明和改正の如ク此化園の輪唐と
書目トイフ也

